学校番号	312

令和８年度　理科

教科	理科	科目	環境科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、地球や自然そのものだけでなく、社会や都市環境など、私たちを取り巻く
あらゆる「環境」について、「科学と人間生活」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の
学習内容を元に、科学的な見方で現実に起こっていることに結びつける視点を養い、
問題の発見・解決にむけて学習する授業です。
授業で学んだことだけでなく日々のニュースにも関心を持ち、身の回りの物事に関しての
視野を広げていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
環境問題やSDGｓに対する関心を高め、基本的な理解と関連する原理を知識として習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な環境課題を、科学的な側面から多角的に検討し、自ら解決策を考え表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
人間活動が環境に与える影響と持続可能な環境管理の重要性を理解し実践する態度をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現在問題となっている環境課題やSDGｓの目標を理解することができる。 ・環境指標の測定、統計処理の技法を環境評価の見方につなげることができる。	・様々な環境課題を、科学的な側面から多角的に検討し、解決策を模索することができる。 ・導き出した答えを的確に表現することができる。	・社会の一員であると意識し、快適で持続可能な社会の構築のために自らができることを実践することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地球の概観	・大気圏、水圏、固体圏とその相互作用	a:地球を構成する要素を正しく理解する b:物質循環をはじめとする相互作用とフィードバック作用のしくみを表現する c:身の回りの環境を端緒に、地球規模での環境について知識を習得しようとする	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	授業観察 ワークシート パフォーマンス課題
	資源と物質	・身の回りで使われる物質とその素材	a:日常使う物質の素材とその特性を理解する b:過去の公害問題とその克服から、課題解決に必要な施策に気付くことができる c:リユース、リサイクルや省資源化に向けて必要な取り組みを実践することができる			
2学期	生態系	・地球環境と生態系の保全	a:身近な植生や動物の分布を理解する b:人間活動による環境破壊に対して、生態系の保全に向けた具体的な施策を考えることができる c:SDGs の観点に沿った日常生活の様式を実践することができる	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	授業観察 ワークシート パフォーマンス課題
3学期	防災	・自然災害と防災	a:近隣地域及び国内で起こりうる自然災害を理解する b:災害時に取るべき行動を判断することができる c:災害時に自他を守る実践的態度を挙げることができる	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	授業観察 ワークシート パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度